

令和7年度 第2回芦屋市公民館運営審議会 会議録

| | |
|-----|---|
| 日 時 | 令和8年2月12日(木) 10:30~12:00 |
| 場 所 | 市民センター203室 |
| 出席者 | 委員長 今西 幸蔵 副委員長 西本 望 委 員 多田 直弘 鹿野 玲子 岸岡 文子 越智 高敏 横田 薫 事務局 田嶋国際文化推進室長、大久保公民館長、中西管理係長 公民館講座等事業受託者(河内厚郎事務所) 河内代表、蓮沼業務従事責任者、藤本社会教育主事 欠席委員 なし |

1. 開会

今西委員長あいさつ

成立報告(委員7名全員出席)

2. 議事

(1) 報告事項

令和7年度 芦屋川カレッジ・大学院及び公民館講座等の実施状況について
(別紙資料参照)

・質疑応答・委員意見

横田委員)

資料8ページの平和セミナー「青い目の人形」が伝える戦争と平和は、内容は面白そうですが、定員600名に対して参加者数が51名だったのですね。

事務局・蓮沼業務従事責任者)

ルナ・ホールを使用しましたので定員は600名です。芦屋大学の教授に、戦前にアメリカから贈られたセルロイドの人形を題材に、戦争と平和についてご講演をお願いしました。先生から戦時中の教科書などの資料もご提供いただくなどご協力いただいたのですが、参加者数が伸びず非常に残念でした。

越智委員)

「消費生活セミナー」はタイトルを見ても何が言いたいかわからない。

官公庁の言い回し、行政用語は市民に向けて伝わりづらい。公民館は市民と行政の間に入って接着剂的な役割をはたしてほしい。

事務局・蓮沼業務従事責任者)

タイトルは共催の芦屋市地域経済振興課でつけられたものです。行政用語が伝わりにくい点について、地域経済振興課担当にお伝えします。

今西委員長)

情報提供に際しては、伝わりやすい表現に努めてください。「行列を作る」というシリーズの新書本にもタイトルをつける際に非常に参考になるものがあります。参考にしてください。

鹿野委員)

芦屋川カレッジの応募対象年齢について、これまで60歳以上だったが、56歳に拡大されたのですね。もともと、高齢者のための学びの場ということで設立されたもので社会情勢の変化に対応するために拡大したと思いますが、56歳という区切りの意味がよくわからない。20代30代でも参加できるようにしてはどうか。

事務局・蓮沼業務従事責任者)

令和8年度から56歳に広げました。令和7年度に59歳の方から申し込みがありました。近隣でも、昔の定年年齢56歳を採用しているシニアカレッジの例もあり、これに倣いました。ご意見も参考に協議します。

越智委員)

40年ほど前に文科省通達に基づき市が設置したものの。社会からリタイアした人たちが学び、地域貢献してほしいという意図なので、ここは堅持してもらいたい。通年の事業なので1年間通して参加できることが大切。

今西委員長)

定年延長などの労働環境や人口構造も変わってきており、他都市では同じように始まったシニアカレッジが、生徒が集まらず事業を終了するという事態になっていますので事務局は事業の継続に向けフレキシブルな対応を検討してください。

多田委員)

高齢者をひとくくりにするのはやめてもらいたい。体力は落ちたが頭は冴えている。高齢者には、長年の積み重ねで若者に負けない知識量がある。講座に関しては、人はメリットを求めている。無料であれば人は集まり、有料だと集まりにくい。芦屋市民病院講座の集まりが悪いのは日本の医療制度に問題がある。低廉な費用で最高の医療が提供されるので健康に対する知識欲がかきたてられなくなっている。

今西委員長)

芦屋病院講座も、参加者数が低迷しているので、自分自身の問題として健康に興味を持ってもらえるよう周知徹底をよろしくお願いします。

岸岡委員)

外国ルーツのこどもが増えている。保護者も外国の方が多くなっていてPTA活動でも日本語が通じず、うまくいかない地域が増えている。にほんご学級について23名受講となっている。この事業は大人が対象だと思うが、今まで潮芦屋交流センターくらいしかイメージがなかった。外国人保護者に対するにほんご学級の宣伝活動はどのようにされているのか。

事務局・田嶋国際文化推進室長)

転入者に対しては、日本語教室などに通っていただくようチラシ配布をしています。転入者に限らずお住まいの方にはイベントも行っています。市国際文化推進課

では、マナーを学ぶなどのイベントも実施しています。対保護者という意味では教育委員会と共催し、日本で生活していくための「サバイバル」イベントなどの取組を広げているところです。

今西委員長)

市も問題意識を持って取り組んでいるので、私たち住民も応援していくということでお願いします。

西本副委員長)

にはんご学級講師のボランティアや講座について、今後増やしていくことは検討されていますか。

事務局・蓮沼業務従事責任者)

ボランティアの募集も行っていますが応募が芳しくなく厳しい状況です。需要が増えていることは把握しています。

事務局・田嶋国際文化推進室長)

潮芦屋交流センターでボランティア養成講座を実施しています。本市には約2,200人の外国人市民の方がいらっしゃいます。

近年、外国人の相談が増えてきています。外国人住民もスマートホンアプリなどで対応しているようです。近隣でも外国人は増えてきており、文化度にも違いがあり、外国人相談がかなり多いと聞いています。

学校からの連絡物が読めないということもありますので教育委員会と協力連携して取り組みを進めています。

日本語教室がボランティアで運営するということについて、日本語教師は一定の資格が求められるようにもなっていることから、確保が難しくなっていますが、育成のための講座は充実させていきたいと考えています。

西本副委員長)

将来的にはにんご教室を有償で拡充させていただくことはできますか。

事務局・田嶋国際文化推進室長)

現在も市内に有料の日本語教室はあり、転入の際にはご案内しているところです。

岸岡委員)

尼崎ハローワークで外国人雇用管理アドバイザーをしています。

県南東部で企業相談に携わっていますが、文化度の地域差については室長の言うとおりで市ごとに格差があります。また日本語教師は時給2500円で募集しても応募がありません。市の予算から教師確保のためにいくら支払えるのかという課題もあり確保は非常に難しいと思います。

越智委員)

リード芦屋でも外国人向けのボランティア教室を実施している。芦屋市では市民活動の一環でこのような活動をされています。

今西委員長)

大阪の清風学園で日本語学校のお手伝いをしています。日本語教育を必要としている企業と「企業連携」を結ぶことで教員確保の費用の問題が解決できると思いますので、ご検討ください。

(2) 協議事項

令和8年度芦屋川カレッジ・大学院募集要項及び公民館講座等の実施予定について
(別紙資料参照)

・質疑応答・委員意見
横田委員)

家庭教育セミナーは、今年度実施はないのですか、
岸岡委員)

来週2月18日に実施します。

越智委員)

芦屋川カレッジ学友会(約580人在籍)約40人で委員会を月1回開催していま
す。先日の会議で募集要項について協議しました。意見は以下のとおり。

各カリキュラムの開催日付が記載されていないと予定できず受講しにくくなる。

午前の講義ローカルな内容が多すぎる、アカデミックな内容が必要。

能舞台の現地見学はよい。

午後の選択講座は元の2コースから選択がよい、4つから選びにくい。

参加者減少対策として広報芦屋にパンフレットを挟んではどうか。

昔好評だった講座は残っているのか。

アンケートはなくなったのか。

高島市長の講演などはどうか。

複数年制にしてはどうか。

2次募集で空きがあれば東灘区、西宮市からも募集してはどうか。

フレイル予防講座を希望。

先端技術についてサイエンスで取り上げてはどうか。

学友会から講座のアドバイザーを出してはどうか。など

事務局・蓮沼業務従事責任者)

項目が多岐にわたるため、個別に検討します。

多田委員)

広報に募集記事が載っていない気がする。

事務局・蓮沼業務従事責任者)

昨年から記事を大きくして掲載しています。

今西委員長)

事務局は実施にあたってはよろしくお願ひします。

その他

事務局・河内代表)

今年度大学院にNHK朝ドラ「ばけばけ」小泉八雲さんの曾孫、小泉凡さん、
公開講座「豊臣兄弟の光と影」で作家の井沢元彦さんも講師で招きます。

3. 閉 会